

国等へ新東名高速道路の整備推進などを要望しました

令和6年11月13日（水曜日）

新東名高速道路は、我が国の社会経済活動の根幹を担う新たな大動脈であり、重要な道路です。このため、神奈川県、愛知県、静岡県、名古屋市、静岡市、浜松市の3県3市は、新東名高速道路建設促進協議会を組織し、整備促進に向けた積極的な活動を行っており、このたび、新東名高速道路の早期全線開通や6車線化の実現等を求める決議を行い、国等へ要望活動を実施しました。

佐々木道路局次長に要望書を手渡し、現在事業中区間の令和9年度の開通を確実なものとし、海老名南ジャンクション以東の区間の計画の具体化を図るよう、新東名の整備推進を強く要請しました。

要望活動の様子



（左から）浜松市加藤土木部次長兼道路企画課長、静岡市武田道路整備調整担当部長、星野静岡県西伊豆町長、静岡県森副知事、国土交通省佐々木道路局次長、神奈川県橋本副知事、山口神奈川県厚木市長、萩原神奈川県伊勢原市長、愛知県上田建設局技監、名古屋市高山都市計画部長

